

令和5年度 第3回 砂丘小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月24日（火） 14時00分から15時55分まで
- 2 開催場所 砂丘小学校 コミュニティルーム
- 3 出席委員 小林 あけみ、中村 和夫、川嶋 利博、西尾 進治、高橋 友子
高島 大輔、鈴木 ふじ子、高野 朋子
- 4 欠席委員 岡本 千香、鈴木康介
- 5 オブザーバー 石塚 訓岳（白脇協働センター）
- 6 学 校 櫻井 利幸（教頭）、越川 真優子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 越川 真優子

10 議長の選出

高島委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）本校における学校評価項目について
- （2）午前5時間授業について
- （3）特色ある教育活動（防災教育）について

12 会議記録

西尾会長から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）本校における学校評価項目について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき学校評価項目について説明があった。

偶然にも協議会開催の本日にスクールソーシャルワーカーが来校し、校内がとてもいい雰囲気、他ではない温かい空気があるとおっしゃって帰られた。今までやってきたことを今後どのように行っていくか等、協議会として意見をいただきたい。

（2）午前5時間授業について

議長の指示により、協議会開催の本日、出張のため校長からビデオメッセージで説明があった。また、教頭からも本年度5月から午前5時間授業を実施している中での状況の説明があった。

（3）特色ある教育活動（防災教育）について

夏休み中に社会科自由研究で「さがせ！地いきの防災対さく」に取り組んだ児童の発表を聞いた。その後、教頭から、本年度すでに4回の訓練を実施している。繰り返しの訓練を行い様々な場面を想定した訓練を実施し、防災意識を高めていくと説明があった。

（2）午前5時間授業について、（3）特色ある教育活動（防災教育）について、2つのグループに分かれ意見を出し合った。

【グループ1】西尾委員、鈴木ふ委員、川嶋委員、高野委員

(2) について

- ・集中力が続くかどうか懸念される点がある。そのために子どもたちを飽きさせない活動を行っていく。
- ・今までの朝の活動（さわやか活動）の充実、さわやか草取りなどしてみてもどうか。

(3) について

- ・地域の人にも知ってもらいたい。今日のような児童が発表する場を設けていくとよい。誰にでも分かりやすい発表であった。子どもからの発信は、響く。
- ・浜北の人と南区の人の意識が違う。

【グループ2】高橋委員、小林委員、中村委員、高島委員

(2) について

- ・2時間目と3時間目の休み時間（業間）が少ない。
- ・支援員、ボランティアの活用についてどうするか。読み聞かせをどうするか。
- ・時数に余裕が生まれることにより、様々な活動ができる。
- ・日課や下校時刻の周知していく。

(3) について

- ・ハザードマップにより対策する以前との変化がよく分かる。
- ・子どもたちが意識をもって行動することは、子どもたちが大人になったときに生きてく。地域を守る中心となることができる。

その他報告事項等

- (1) 学校支援コーディネーターから夏休み中に開催した「海の講座」、「ポスター講座」、かにぱんお姉さんと楽しく学ぼう「お楽しみ講座」について報告があった。児童会の日「砂の造形」において改善点と今後の活動内容について検討していく。秋の講座「まつぼっくりで遊ぼう」の開催の案内があった。また、家庭科の調理実習やミシン操作の学習支援ボランティア、校外学習等の引率ボランティアについて報告があった。

花壇活動について、児童数減少により種まき、ポットあげの作業がなくなり、育った苗を植えることに活動が変化しているとの報告があった。

- (2) 教頭から、次回今年度最終の運営協議会を2月20日（火）午後2時からコミュニティルームで開催すると連絡があった。今年度の振り返りと来年度活動についての方向性を内容とする予定。
- (3) 次回議長を高橋さんをお願いする。